

## 3 災害安全

区分	目標	内容	
Ⅲ-1 火災時の安全	火災発生時における危険な状況を理解し、適切な行動ができるようにする。	① 「おかしも」の約束や、避難経路、避難場所を確認すること。 ② 火災の原因と危険について知ること。 ③ 火災に対する心構えと安全な行動の仕方を確認すること。 ④ 初期消火の方法を確認すること。	
Ⅲ-2 地震災害時の安全	地震発生時の危険と適切な対処について理解し、安全な行動ができるようにする。	① 緊急地震速報の利用の心得を確認すること。 「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」 ② 地震発生時の危険について知り、対処の仕方を確認すること。 ③ 集団で避難するときの「おかしも」の約束を確認すること。 ④ 避難経路、避難場所を確認すること。 ⑤ 家庭での地震の備えについて考えること。	地震 その時 10の ポイント
Ⅲ-3 火山災害時の安全	火山災害が発生した場合の危険を理解し、安全な行動ができるようにする。	① 安全な避難場所と避難の仕方を確認すること。 ② 火山活動による危険を知ること。	
Ⅲ-4 気象災害時の安全	風水害、雪害の危険を理解し、安全な行動ができるようにする。	① 風水害時の危険を知り、安全な行動の仕方を確認すること。 ② 落雷に遭わない安全な行動の仕方を確認すること。 ③ 竜巻発生時の危険について知り、安全な行動の仕方を確認すること。 ④ 降雪時の安全な登下校の仕方を確認すること。 ⑤ 落雪が起こる仕組みや雪害の影響について知ること。 ⑥ 特別警報等、気象災害に関する情報について知り、活用すること。	
Ⅲ-5 原子力災害時の安全	放射線による事故の危険について理解し、安全な行動ができるようにする。	① 原子力災害による放射線放出と安全対策について知ること。 ② 放射線の身体への影響について知ること。	
Ⅲ-6 避難所の役割と貢献	災害発生時における避難所の役割とそこでの生活を理解し、自分ができることを実行できるようにする。	① 避難所の役割を知ること。 ② 避難所の生活を知り、自分たちにできることを考えること。 ③ 災害ボランティア活動に積極的に参加すること。 ④ 避難所となる学校や公的機関は、どのような備えがあるのかを知ること。	
Ⅲ-7 災害への備えと安全な生活	災害安全に関する意識を高めるために、避難訓練・防災訓練等の意義を理解し、積極的に参加できるようにする。	① 地域の避難訓練・防災訓練に積極的に参加すること。 ② 家庭での連絡方法を家族と相談し、決めること。 ③ 家庭での災害に対する備えに積極的に関わること。 ④ 応急手当の仕方を確認すること。 ⑤ 消防・警察・自治体等の公助の役割を理解すること。 ⑥ 消防団や自主防災組織の役割について知ること。	
Ⅲ-8 弾道ミサイル発射時の安全	弾道ミサイル発射時の危険について理解し、安全な行動ができるようにする。	① Jアラートを通じて緊急情報が流れること。 ② 安全な避難場所と避難行動を確認すること。	

## 指導を工夫する視点

### (1) 具体的な行動の提示

災害発生時に適切な行動ができるには、「どのようにすればよいか」具体的な行動の仕方を示し、繰り返し、実践的な学習を行うことが大切である。

#### Ⅲ-1-①、2-③ 集団で避難するときの約束

- お… おさない
- か… かけない
- し… しゃべらない
- も… もどらない

#### Ⅲ-2-① 地震の時は、

- 物が**「落ちてこない」**
- 「倒れてこない」**
- 「移動してこない」**
- 空間に身を寄せる。

#### Ⅲ-2-①②③ 「地震 その時 10 のポイント」

地震時の行動	1 地震だ！まず身の安全
地震直後の行動	2 落ち着いて 火の元確認 初期消火
	3 あわてた行動 けがのもと
	4 窓や戸を開け 出口を確保
	5 門や扉には近寄らない
地震後の行動	6 火災や津波 確かな避難
	7 正しい情報 確かな行動
	8 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否
	9 協力し合って救出・救護
	10 避難の前に安全確認 電気・ガス

(東京消防庁ホームページより)

### (2) 教材の活用

災害安全に関する教材として、防災教育デジタル教材「防災ノート～災害と安全～」、「東京マイ・タイムライン」等の活用に取り組んでいく。(教材一覧は、P.108～)



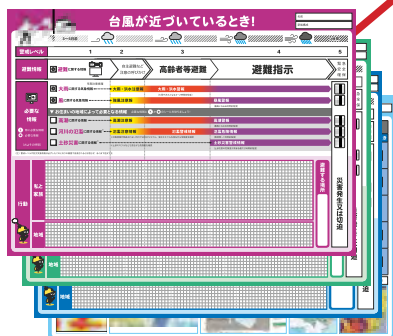
防災教育デジタル教材

「防災ノート～災害と安全～」

- ・小学校版 (1・2年)
- ・小学校版 (3・4年)
- ・小学校版 (5・6年)
- ・中学校版
- ・高等学校版



「東京マイ・タイムライン」



「東京マイ・タイムライン」の活用 (高等学校 全学年)  
特別活動 (学級活動) 「風水害発生時の避難について」

(本時のねらい)

- 風水害発生時における避難方法について「東京マイ・タイムライン」を使って、考えることができる。

導入	○風水害の被害について知る。 ○本時の目標を把握する。
展開	● <b>「東京マイ・タイムライン」</b> を作成するための教材動画 (東京都防災ホームページ) を視聴する。 ○「東京マイ・タイムライン」作成のポイント等について知る。 ・ハザードマップの確認 ・避難開始のタイミング決定 ・避難準備の開始のシールの貼付 ・避難完了のシール貼付
まとめ	○今日の学習を振り返る。 ○自宅で家族等と話し合い、「マイ・タイムライン」を作成することを知る。